○ふるさと納税を拡充強化すべき
○道の駅「小さく産んで大きく育てる」
○歴史資料館に旧二小体育館も
○高久田一貫線を東部環状線へ

円谷　寛議員

質問

ふるさと納税について、全国のデータを集めて出版しているものがあり、納税額によって景品を変えているものが紹介されている。理屈で言えば、景品欲しさということになるが、実際のところ、より多くの納税をしてもらうためには重要なのではないか。

総務課長

インターネット等を見ると、最高50万から10万刻みで返礼品が示されていた。国では過熱傾向に懸念を示しているが、町でも1万円に対して3千円相当の返礼品を送っている。特産品PRとして今後、さらに研究したい。

質問

農業の6次化について、現在までの実績と今後の取組みは、どのようになっているか。

産業課長

観光協会を通じて牧場の雫や米粉パンを開発した。昨年は研修会を実施し、本年は事業者に対する補助事業を予算化している。

質問

道の駅は旅の途中での休憩場所からレジャー基地へと進化してきている。町おこしや、高齢農家の収入源とするためにも道の駅を設置すべきでないか。

町長

道の駅が農産物の販売拠点として農家の所得向上や地域経済に有効であることは、十分認識している。地域産業の動向を見ながら検討すべきと考えている。

質問

安達町では国道4号線の上下線で設置し、活気を呈している。資金的に大変であればイオンの一角か、ドライブイン跡地等を利用して、小さく産んで大きく育てるような構想で始めてはどうか。

町長

町内には、はたけんぼやイオンに関係している農家もある。こうした状況も踏まえて検討する必要がある。いわゆる小さく産んでということでは、やはりカンカン館と結び付けて検討することが大事だと考えている。

質問

成田幼稚園跡に開設された歴史民俗資料館について、隣の体育館を補強して規模を拡充すべきでないか。例えば杉戸絵にしても、せっかく本物があるのに写真展示のみとなっている。

教育長

旧二小体育館は区で利用する神輿等が保管されておりますが、資料館として利用する場合は大規模な改修が必要となる。資料館については、適宜展示物の入れ替え等を行い、活性化に努めたい。

質問

成田は学校や幼稚園が無くなってしまった。時代の流れもあるが、そうした意味も込めて歴民族資料館を増築してはどうか。

教育長

時として郷土の歴史、先人の心や土地の良さを見失ってしまうことが無いわけではない。町の歴史が見える営々と暮らしてきた人々の様子が分かるように今後、資料館を充実させたい。

質問

高久田一貫線の行き止り解消として、須賀川からの東部環状線に接続することは出来ないか。

町長

須賀川市との協議の中で、須賀川市は新たに町道を整備して交差点に接続するよう求めている。こちらとしては須賀川市道を整備して一貫線に接続するよう求めている。現在調整中である。

質問

駅東開発について、中学校前の県道沿いが何故施行されないのか。その前は多くの車が通行している場所である。早急に工事すべきでないか。

町長

私の近所でもあり、地権者とはお互いに良好な関係にある。工事施工については、しっかりと対応したい。

○大震災の復興は終わったのか
○復興モニュメントは早過ぎなかったか
○町の役職員の事故はどうなるのか
○感電ブレーカー必要性の広報を

木原秀男議員

質問

町長は「復旧事業は終わった」と言っているが、町民は原発問題等と兼ね合わせて大震災と考えており、除染が終わらなければ、震災も終わっていないと思うがどうか。

町長

震災から4年、公共施設等は新増設及び修繕し、復旧事業は大半終了したが、除染は28年度終了に向けて作業中であり、復興については道半ばと考えている。

質問

道半ばであれば復興は終わっていないと思う。町全体の除染は何％終了したのか。

原子力災害対策室長

住宅除染については全体の約15％が終了した。公共施設は、ほとんど終了した。

質問

いまだに福島県産というレッテルを貼られただけで、農産品が色々差別被害を受けているようだが、これは風評被害ではないか。

産業課長

風評被害については依然として大きなものがあると感じる。農産物も原発事故以前の水準までは回復していない。風評被害に対する各種事業は継続している。

質問

東日本大震災復興シンボルモニュメントは早すぎないか。復興も終わったのか。

町長

このモニュメントについては、震災から4年の間、町民の皆さんの絆で支え合って復旧復興を進めてきたこと、震災の教訓を後世に伝え、町づくりを進めていこうというものである。復興が終わったということではない。

質問

町では、高齢化社会になり膨らむ医療費の抑制について、取り組んでいるか。

税務町民課長

医療費の増加要因には高齢化や医療の高度化等が考えられるが、高度化については医療費を下げる要素もある。総合健診や個人医療通知等で抑制に努めている。

質問

町の役職員が出張中に事故等があった場合、町の責任等はどうなるのか。

総務課長

職員以外の条例にある役職員については、地方公務員災害補償の対象になり、事故等は保障される。

質問

池の原の悪臭問題について現在、牛舎に数頭だが、多くなれば懸念も増える。今後どのように進めるのか。

健康福祉課長

三点比較式臭袋法等により定期的な臭気測定を実施し、関係課と連携して周辺状況の把握に努めたい。

質問

第一小学校は避難場所に指定されているが、夜間照明を以前は設置するとしていたが、何故今になって、設置しなくなったのか。

総務課長

災害発生時に停電すると使用できないため、発電機等で対応できる簡易的な照明を検討している。

質問

AEDが設置されているのは中心部の公共施設であり、もっと全般的に設置すべきでないか。

総務課長

救急医療財団等のガイドラインに沿って設置したが、設置個所を増やすよう検討する。

質問

神戸の震災でも、感電ブレーカーが設置されたところは火事にならなかったようだ。設置を推進すべきでないか。

総務課長

神戸では一旦火がおさまった後、通電して火災が発生したことがあったようだ。火災報知器と同じく、感電ブレーカーの必要性についても今後広報したい。